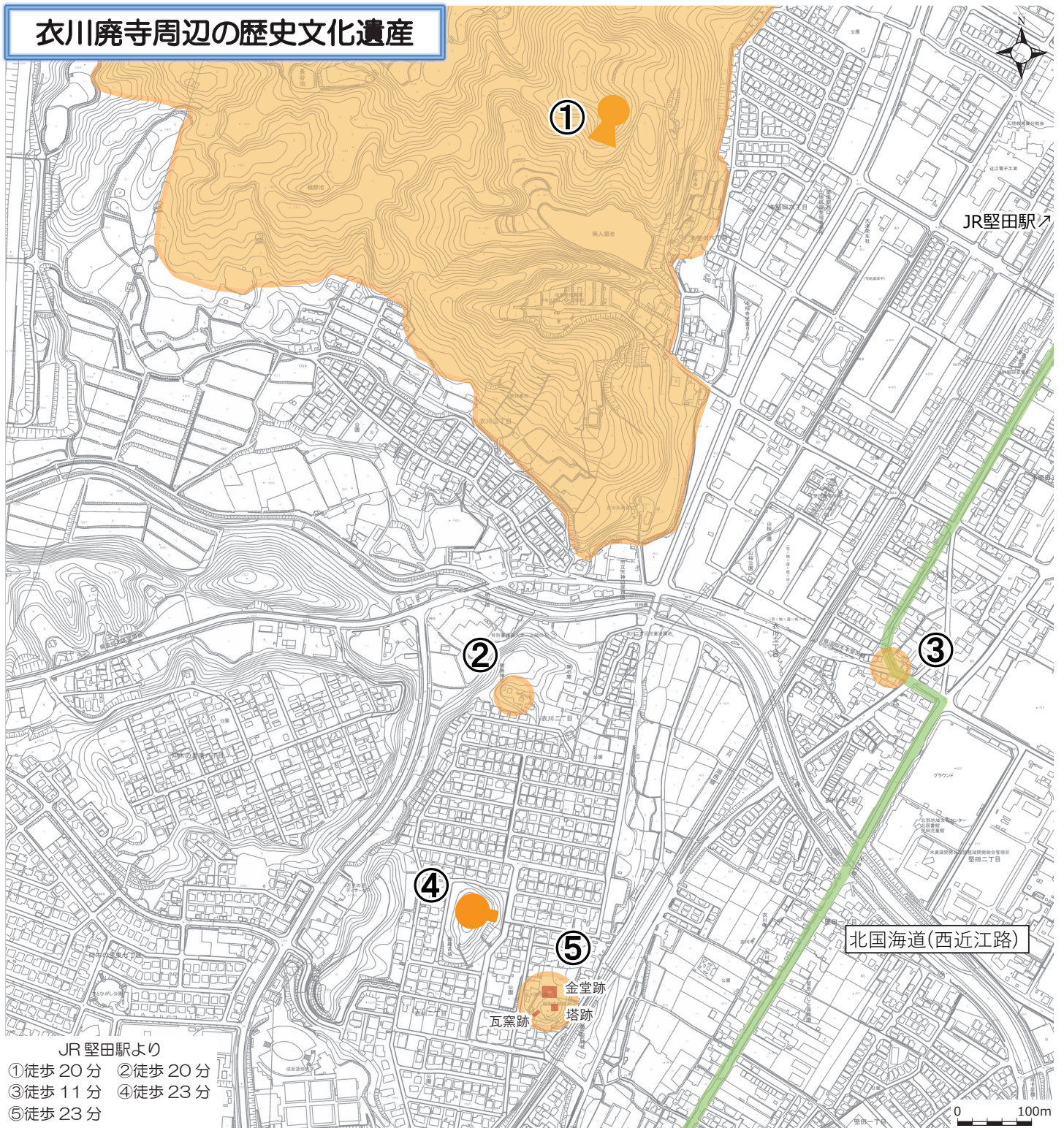


# 衣川廃寺周辺の歴史文化遺産



JR 堅田駅より  
 ①徒歩 20分 ②徒歩 20分  
 ③徒歩 11分 ④徒歩 23分  
 ⑤徒歩 23分

## ① 春日山古墳群 (国史跡)

春日山に築かれた大規模な群集墳。5世紀に築かれた春日山古墳と6世紀中ごろから7世紀初頭にかけて築かれた総数200基以上からなる後期群集墳で構成されている。その多くは径10～30mの円墳で、春日山古墳は全長65mの前方後円墳である。

## ② 鞍掛神社

壬申の乱に敗れた大友皇子(弘文天皇)が、衣川まで逃れ、柳木に愛馬の鞍を掛けて、最後を遂げたとされる。『日本書紀』には、衣川の地名は見えず、「山前」で亡くなったことになっており、伝説地のひとつである。

## ③ 仰木道の榎

北国海道(西近江路)に面し、仰木への分かれ道に植えられた榎。仰木道の榎と呼ばれて一里塚の役目を果たしていたという。足元には天保7年(1836)建立の白鬚神社の道標が建つ。

## ④ 西羅古墳 (市史跡)

全長46m、後円部径32m、同高さ3.5m、前方部幅12mの短小な前方部が東に向けて取り付く帆立貝式とも呼ばれる前方後円墳。築造年代は、古墳時代中期の5世紀後半頃と推定される。

## ⑤ 衣川廃寺跡 (国史跡)

7世紀中頃に創建された近江最古級の寺院跡。塔跡と金堂跡が直線的に並ばず隣接するという特殊な伽藍配置を持ち、推定寺域の南端斜面で本寺の瓦を焼成した瓦窯が発見されている。金堂基壇、塔基壇、瓦敷遺構の復原、瓦窯の露出展示、史跡のガイダンス施設が整備されている。